

第1回 富津市道の駅 整備検討委員会

令和7年8月20日

事務局からの説明内容

- ・ 市のこれまでの取組
- ・ 富津市「道の駅」基本方針 《整備目的・方針》
- ・ 他の道の駅等との距離感
- ・ 候補エリア選定理由
- ・ 候補地 3 か所の概要と評価

市のこれまでの取組

- **令和4年度** 市の最上位計画「富津市みらい構想」において、重点施策の一つとして道の駅の設置を位置付け
- **令和5年度** 「富津市道の駅基本方針」を策定
 - 整備目的、候補エリア選定等の市の考え方や方向性を提示
- **令和6年度** 「第3期富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、地場産業である農業や漁業の活性化と、交流人口の増加を図るために道の駅整備を位置付け
 - 「道の駅適地調査等業務」を実施
 - 候補エリア周辺から3か所を選定し、適性を比較評価
- **令和7年度** 富津市道の駅整備検討委員会の設置

ふつつの自慢（基本方針[抜粋版] 1 頁）

- **海や山などの豊かな自然環境**
➢ のどかな田園風景、東京湾越しの富士と丘陵の緑、四季の花が彩る魅力的な景観
- **農産物、海産物、地酒などの美味しい地場産品**
➢ 四季折々の新鮮な恵みや、ここでしか味わえない地酒・加工品が魅力
- **都心からのアクセスの良さ**
➢ 首都圏から約 1 時間で日帰り可能な距離にあり、観光や移住促進に有利な立地
- **豊富な観光、レジャースポット**
➢ 海や山、歴史散策まで、子どもから大人まで楽しめる多彩な観光資源
- **地域にあふれるやさしさと温もり**
➢ 南房総の陽だまりのような温もりと、親しみ深い人々のおもてなしが再訪を誘う魅力

整備方針（基本方針[抜粋版] 2頁）

- **地域資源の発信拠点**

- 単なる物販・休憩施設の整備にとどまらず、市民活動や地域イベント、特産品のP R・販売の拠点となることで、地域経済やコミュニティの持続的発展を支える新たな活動基盤としての役割

- **交流とにぎわいの拠点**

- 地域の魅力を発信する交流・連携の拠点として、観光・防災・交通の機能を担いつつ、地域内外の子どもから大人まで幅広い世代が立ち寄りたくなる施設を目指す。特に、子どもたちが訪れて楽しめるような空間や仕掛けを備えることで、持続的なにぎわいと地域への愛着の醸成

- **災害時の防災拠点**

- 災害時には避難場所や災害復旧活動を行うための防災拠点としての役割

🏠 地域資源の発信と誘客、市民生活の利便性向上、防災体制の強化といった複合的な機能

整備目的（基本方針[抜粋版] 1頁）

- 南房総の玄関口という立地を活かし、地場産品・観光資源を発信して来訪促進
- 市内資源を結び付けて周遊を促し、リピーターを増加
- 普段使いでき、平日も人が集い買い物ができる身近な施設を目指す
- 平時はにぎわい・交流の場、災害時は避難・復旧拠点として地域を守る
- 「ゲートウェイ型」と「地域センター型」を融合した“ハイブリッド型”
- 基本方針「つながる富津～地域資源を連携し、にぎわいを創る道の駅～」の実現を目指す

📍「観光の出発点」と「暮らしの結節点」の両機能を融合させた“ハイブリッド型”の道の駅を整備



周辺道の駅との距離感

富津中央 I Cから

- ⇒ **28** 木更津 うまくたの里 24.2km
- ⇒ **7** ふれあいパーク・きみつ 25.3km
- ⇒ **26** 保田小学校 15.3km
- ⇒ **14** 富楽里とみやまH O 19.9km
- ⇒ 木更津 J C T 17.3km
- ⇒ 君津 P Aスマート I C 4.5km

候補エリア選定理由

- **アクセス性、視認性に優れる土地**
 - 他エリアと比較して、「通過点＋目的地」の機能を兼備
- **市民にも観光客にも利用しやすい地理的バランス**
 - 「観光×生活」のハイブリット型道の駅に最適
- **防災拠点としての適格性**
 - 津波・土砂災害想定外、緊急輸送道路沿いで災害に強い立地
- **観光導線と将来性**
 - 観光結節点としての周遊促進、民間開発による活性化

候補地比較に用いた評価項目

評価項目	内 容
用地確保・拡張性	確保可能な一団の土地面積等、事業の進めやすさ、拡張性、事業費（用地取得費、造成費）
道の駅整備の進めやすさ	交通条件、インフラ整備の可能性、事業の進めやすさ（工事における課題、支障物件）
法的規制と規制への適合性	山林・農地の現況、都市計画法、農地法、森林法、文化財保護法、国土利用計画法
災害リスク・環境影響	防災上の安全性、環境への影響
立地動向	視認性、交通条件（主要道路の交通量、主要道路との接続性、渋滞リスク等）

候補地①

- **規模・将来性**
 - 約3.5ヘクタールの一団の土地で、隣接地利用なしで拡張性あり
- **地形・造成**
 - 標高20m～60mの傾斜地。国道レベル造成は高額見込みだが、地形活用も検討
- **法規・インフラ**
 - 給排水整備済み、支障物件少ないが交差点改良が必要
- **立地・集客性**
 - 富津中央IC前で視認性高く国道127号接続、交通量多い

候補地②

- **規模・将来性**
 - 約4.1ヘクタールの一団の土地を確保可能、拡張性あり
- **地形・造成**
 - 標高30m～50mの緩傾斜地。造成費は候補地①より少ないが高額見込み
- **法規・課題**
 - 空き家解体・土地整理が必要
- **立地・交通**
 - 富津中央IC近接、国道127号接続、坂途中立地のため出入り方法や安全対策の検討

候補地③

- **規模・地形**
 - 約1.5ヘクタールで、浅間山運動公園南部、標高約50mの平坦地で造成コスト抑制可能
- **法規・防災**
 - 法的規制なし、ハザード指定もなく、防災性は比較的高い
- **環境・課題**
 - 進入口の一部はアンダーパス経路で渋滞リスクあり
- **交通状況**
 - 交通量約1,700台（市道浅間山線完成で増加可能性）